

平成30年度事業報告及び決算報告について

平成30年度事業報告

1 慰霊塔の維持管理

太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔の維持管理を行った。

2 太平洋戦全国空爆犠牲者追悼平和祈念式の実施

太平洋戦争による空爆の犠牲となられた全国50万人有余の霊を追悼し、恒久平和を祈念するため、追悼平和祈念式を実施した。

- ・開催日 平成30年10月26日
- ・場 所 慰霊塔前（姫路市手柄山中央公園内）
- ・参列者 約500名
内閣総理大臣（代理 総務大臣政務官）
総務大臣（代理 総務省大臣官房審議官）
太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会代表理事
全国市長会会長（代理 湖南省長）
兵庫県知事（代理 兵庫県中播磨県民センター長）
姫路市議会議長
全国戦災都市代表（3市）
全国戦災都市遺族会（11市町遺族会）
一般市民 等

3 慰霊塔の広報啓発

(1) 慰霊塔などの写真パネルの作成及び貸出

- ・枚 数 38枚×3セット
- ・内 容 慰霊塔、全国都市の空襲被害の様子、戦時中の生活
- ・貸出先 会員都市（一宮市約200名、大牟田市316名）、平和首長会議（飛騨高山市約200名）、姫路市戦没者追悼式（約700名）、姫路市平和資料館（約830名）、姫路文連5回連続講座（約30名）、公民館講座（約30名）、東京都復興記念館（3/9～4/7開催中）

(2) 慰霊塔広報啓発用新聞広告の掲載

- ・毎日、朝日、読売新聞8/15付掲載（大阪地方版朝刊 計506万部）

(3) 慰霊塔に関する出張講座の開催

- ・開催日 平成31年3月9日
- ・表 題 東京都復興記念館リニューアル記念講演会

戦災都市復興への苦闘と「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰
霊塔」の建立

- (4) 平和関連施設（約40施設）及び観光案内所への慰霊塔リーフレットの設置依頼
- (5) 慰霊塔リーフレット（英訳・仏訳）及びクリアファイルの作成
- (6) 慰霊塔見学者への案内、説明
 - ・対象数 計29団体、995名
- (7) 会員都市へ慰霊事業の説明及び供花料納付の協力依頼
 - 12月から2月に会員都市15市を訪問し、慰霊塔建立経緯の説明及びPRを行い、供花料納付の協力を呼びかけた。

平成30年度 事業報告の附属明細書

平成30年度の事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。